市民交流テラス情報誌
Wactivity
ワクティビティ
7
2022.4.15

今号の特集 「助成金」で、活動の活性化を目指そう！

助成金ってなぁに？

助成金は、返済しなくて良い！

助成金は、条件を満たすことで国や地方自治体、助成団体などから支給されるお金のことです。融資ではないので、返済義務がないことが特徴です。

運営に必要なお金を補填できて、悩みごと解決の一助に！

市民活動団体やボランティア団体はその性質上お金儲けをしません。また、受益者からお金をいただけない活動が多くなっています。しかし、活動の継続や活動の発展には、費用が必要になってきます。助成金を上手く活用することで、団体の**悩みごとを解決する一助**にもなります！

令和４年度助成金のお知らせ

具体例は次のページへ

地域に還元チャレンジ助成金

市民活動団体のみならず、生涯学習や趣味的な活動を行う団体がこれまで培ってきた”学びの成果を地域に還元”する活動まで助成対象を広げることにより、生涯学習や趣味的な活動から公益活動への展開を促すとともに、生きがいづくりと支え合いの地域づくりを促進することを目的としています。

助成回数	助成率	助成額
１団体につき２回まで	100%以内	５万円（上限）

市民活動助成金

▶**ひろげる部門**　市内での活動を継続し、団体の強化や会員の拡大、活動の活性化を目指す団体に補助

▶**つなげる部門**　登録団体が実施するまたは登録団体と他組織（団体、企業など）が協働して実施する先駆性・創造性がある新たな事業に補助

部門		助成回数	助成率	助成額
団体助成	ひろげる部門	１団体につき３回まで	１回目：80%以内 ２回目：70%以内 ３回目：60%以内	10 万円（上限）
事業助成	つなげる部門	１事業につき３回まで		20 万円（上限）

応募資格　「小牧市市民活動推進条例」に基づき、団体登録されていること。

募集期間　５月２日（月）までにこまき市民交流テラスまで必要書類を郵送・FAX・メールのいずれかの方法で提出してください。**※書類提出の前に必ずご相談ください。**

◆ 詳しくは、支え合い協働推進課、東部･味岡･北里市民センター、ゆう友せいぶ、ふらっとみなみ、中部公民館、市公民館、まなび創造館などの市内公共施設、こまき市民交流テラスに設置してある募集要領をご覧ください（市ホームページ、こまき市民交流テラスホームページにも掲載）。助成金交付申請書は、募集要領の中にあります。

募集要領（市 HP）はこちら

相談・問合先　こまき市民交流テラス ワクティブこまき　（ラピオ２階）　TEL：48-6555
支え合い協働推進課（市役所本庁舎３階）　TEL:76-1629

ワクティブこまきスタッフがテラスを飛び出して団体活動の現場をレポートします！

みつけるつながるワクティブのわ

「Bell・Berry（ベル・ベリー）」
地域に還元チャレンジ助成事業視察 ２月23日（水・祝）

Bell・Berry（ベル・ベリー）さんは、月２回子どもたちにハンドベルを教え、高齢者施設などで発表するという活動をしている団体です。

この日は、高齢者施設・岩崎あいの郷さんに送るハンドベル演奏動画の撮影でした。これまでは全て、同施設で生徒全員での演奏を撮影し、施設の皆さんに見ていただいていたそうですが、今回はコロナウイルスの感染状況により、１人ずつの動画を撮影・編集し、１つの動画を作ることにしたそうです。代表の井垣さんのピアノ伴奏に合わせて、演奏・録音されていました。また、施設へは演奏動画だけでなく、子どもたちが手作りした季節の飾りを毎月プレゼントしているそうです。

コロナ禍前は、「広報こまき」への掲載をきっかけに、高齢者施設、病院や保育園など様々なところから依頼がありました。特に高齢者施設では、高齢者の方とのふれあい活動も行っていましたが、コロナ禍でそれができなくなり、かなり活動方法に悩んだそうです。更に、ハンドベルは自宅練習ができないため、レッスン開催が難しい時期には動画を送り「カップス」という自宅でできるリズムレクリエーションで練習をしていたそうです。

コロナ禍でも状況に合わせ活動方法を変えていく柔軟性や、子どもたちの主体性を尊重した活動が素晴らしいと感じました。

▲季節の飾りを制作中！

Bell・Berry（ベル・ベリー）
代　表　｜井垣　琴美
設　立　｜２０１６年
会員数　｜１６人
活動内容　｜演奏を通じて、親睦と地域ふれあい、児童の健全育成を行う。

「あじおか おたすけ隊」庭木の伐採依頼
３月12日（土）

あじおか おたすけ隊さんは、味岡小学校区の住民有志で構成される、「地域の高齢者等のちょっとした困りごと」を解決するチームです。平成 31年４月に発足後、多くの依頼に対応し、昨年度も53件の依頼をこなされたそうです。

今回の依頼は、庭木の伐採でした。３名のメンバーが集まり、様々な道具を使い手際よく木を切っていきます。今回は、切った木を処分場へ運ぶまでが依頼内容でした。処分場へ運ぶ依頼がある際は、軽トラックを持っているメンバーに必ず参加してもらうそうです。

活動は、庭木の伐採だけでなく、買い物代行や重い物の移動、電球の取り換えなど多岐に渡ります。１回の依頼は約１時間～１時間半で、平均２～３人のメンバーで、無理なくこなすとのこと。業者に比べ非常に安価なため、依頼者も頼みやすいようです。

森川さんは「ちょっとしたことで困っている高齢者は多い。誰かがやらなきゃいけないこと。これからも活動を続けたい」と話していました。

しかし、このようなボランティア活動を行う方が少ないことが悩みとのことです。一緒に活動する「隊員」をいつでも募集していますので、味岡小学校区内にお住まいで興味のある方は、ぜひお問い合わせください！

▲手際よく庭木を伐採！

あじおか おたすけ隊
代　表　｜森川　満男
設　立　｜２０１９年
隊員数　｜19人程度
活動内容　｜地域高齢者らの一助として、庭木の伐採など、お困りごとを解決する

これもこれも!? SDGs vol.3

SDGs につながるちょっとした活動や行動をご紹介！

16 平和と公正をすべての人に

コロナウイルスの状況が落ち着かない中、ウクライナ・ロシア問題は未だ解決せず、苦しいニュースが続きます。国外の紛争に対して、私たちができることは何もないのではないかと、無力感に包まれることもあるかと思います。

「募金活動」は、支援金を集めるだけが目的ではありません。選挙の投票のように、その行動が平和を願う意思表示となります。１円でも、大切な一票。４月 30 日までワクティブこまきでも緊急募金を受付中です。ご支援よろしくお願いいたします。

編集後記　今号から､みなさまの活動に役立つ「特集」を毎号取り上げることにいたしました。「助成金」特集はいかがでしたか？みなさまの活動の活性化が、地域課題解決につながるよう引き続き精一杯サポートいたします。平和を祈って。（ま）

市民交流テラス ワクティブこまき
〒485-0041　小牧市小牧３丁目 555 番地　ラピオ２階
T　E　L：0568-48-6555　　F　A　X：0568-48-6556
E - mail：wactive-komaki@grace.ocn.ne. jp　　HP：https://komakici.jp
開館時間：月～土 / 10:00 ～ 21:00　日 / 10:00 ～ 17:30
休 館 日　:毎月第３火曜日とその前日（その日が休日の場合は開館､水曜日が休館）
HP

令和３年度 助成金交付団体の活用事例

コロナ禍でなかなかうまく活動できない中で、昨年の助成金交付団体が、具体的にどんな困りごとを解決したのかをご紹介します！

地域に還元チャレンジ助成金

一寸奉仕こまき　『リーフレットの作成』
交付決定額　50,000 円

[困りごと]
・会員を増やしたい
・担い手がほしい

[助成金を活用して…]
内容を見直し新たなリーフレットを作成！
カラーで活動様子の写真を多く掲載したり、わかりやすい表記にするなど工夫をしました。

パンフレットを作ったあと、活動参加者が増えたそうです！

▼ 作成したパンフレット

ベル・ベリー　『動画作成交流 ほか』
交付決定額　50,000 円

[困りごと]
・慰問活動ができない
・活動の場がほしい

[助成金を活用して…]
動画＋手作りプレゼントを慰問施設へ贈る！
慰問していた高齢者施設へ、演奏動画を撮影し贈りました。こどもらしい演出が大変喜ばれました。

詳しくは、裏面の「ワクティブのわ」をご覧ください！

市民活動助成金

つなげる部門

しきの会　『声かけサポート推進事業』
交付決定額　200,000 円

[困りごと]
・若年層を中心に、もっと多くの方に障がい者のことを知ってもらい、声かけの啓発を行いたい。

[助成金を活用して…]
声かけサポート啓発動画を作成！
若年層を対象にしたディスカッションイベント、こまき視覚障がい者の会との協働イベントを「ハロー！福祉」という一連事業として動画にまとめ、小牧市の小中学校へ配信案内を行います。

助成金をいただけたからこそコロナ禍でも新たな取組みにチャレンジできたそうです。

助成金講座を開催しました

３月 19 日 (土) と 25 日 (金) の２日間、「想いをカタチに！助成金はじめて講座」を開催しました。１日目は、コロナ禍で工夫して活動を継続している団体の活動紹介を行い、２日目は小牧市市民活動助成金の紹介やその活用事例紹介を行いました。小牧市市民活動助成金の説明は YouTube からもご覧いただけます！

▲耳を傾ける参加者

小牧市市民活動助成金説明動画はこちら
YouTube

令和５年度に実施する　協働提案事業の募集が始まりました！

小牧市では、平成２４年度から「協働提案事業化制度」をスタートし、市民（市民活動団体）と行政が、協働で取り組むべき地域課題等を提案し、解決に向けて協働で事業を実施しています。

提案事業のタイプは、行政が事業の協働相手を募集する行政提案型「はばたき」と、市民（市民活動団体）が行政との協働事業を提案する市民提案型「きらめき」があります。

▶ 行政提案型『はばたき』

No. 1	【提案事業名】違反簡易広告物除却事業
提案課	都市計画課（７６－１１５５）
事業概要	市内全域に散見される違反簡易広告物（貼り紙・貼り札・立看板）について、行政のみでの除却には限界があるため、協働により、地域住民自らが除却を行うことで、違反簡易広告物のない良好な地域景観の保護と風致の維持に繋げる。また、この活動の広がりによって、市民ひとりひとりが美しい都市景観形成の担い手となり、市民が誇りと愛着を持って暮らすためのまちづくりについての意識啓発に繋がることが期待できる。

▶ 市民提案型『きらめき』

市民活動団体から提案する、地域や社会での課題の解決や、地域の活性化につながる協働事業を募集します。

[応募資格]
① 小牧市市民活動推進条例に基づく「市民活動団体」として登録していること。
▼登録要件
・市民活動を行うことを目的とした団体であること。
・３人以上の会員を有していること。
・主に市内で活動している、または活動の拠点が市内であること。
・代表者や運営方法が、定款、規約、会則等で決まっていること。
②「まちを育む 市民と行政の協働ルールブック」に定める事項を理解し、活動できること。
③ 原則として団体としての活動実績が１年以上ある団体
④ 提案事業の契約を有効に締結できる団体

5月２５日（水）（必着）までに、支え合い協働推進課（市役所本庁舎３階）またはワクティブこまきに、提出してください。

※必ず事前にご相談ください。
※詳しくは、支え合い協働推進課、ワクティブこまき、市民センター等に設置してある募集要項をご覧ください。（市・ワクティブこまきのホームページにも掲載しています）

ワクティビティ　インフォ
Wactivity Info

市民活動祭 参加希望団体募集 !!

市民活動団体やボランティア団体・生涯学習団体・企業・学校など、社会貢献活動の大切さを伝える一大イベント「市民活動祭 (仮称)」！昨年コロナウイルスの影響で延期となりましたが、今年は９月 17 日（土）に開催です。「SDGs」をテーマとし、これまで以上に新たなパートナーシップが生まれるきっかけを作ります。

ただいま参加希望団体エントリー受付中。一緒に素晴らしいお祭りを作りましょう！

◀ 平成 30 年度の様子。ラピオではなく、市公民館での開催でした。

- 日時：９月 17 日（土）　10 時～ 16 時　（予定）
- 場所：ラピオ２～５階
- 定数：50 ブース程度
- 区画：１ブースあたり約 3.8 × 1.8 m程度
- 費用：無料

※ 詳しくは、ワクティブこまきに設置、もしくはホームページに掲載の募集要項をご確認ください。

募集要項はこちらからご確認いただけます

まちのかたり場 こまき未来 BUILDERS から ２つの事業が誕生！

昨年度開催した「まちのかたり場 こまき未来 BUILDERS」で発表されたプロジェクトのうち、２つが実際に実現されました！

今年度も「まちのかたり場」は実施予定ですので、お楽しみに！

こまきコラムニスト

地元の学生と中小企業をつなぎ、魅力を伝えるプロジェクトで、小牧の地縁組織や市民団体、企業を学生が取材し、コラムを執筆しています！高校生・短大生・大学生の３名がコラムニストとして活動中です。

▲コラムニストの３人！

詳細や記事はこちらから

町の小さな美術館

２月７日（月）～２月 13 日（日）にワクティブこまきフリースペースで開催されました。絵画や陶芸など 58 点のアート作品が展示され、毎日たくさんの方が訪れていました。主催の宮下さんは、まちのかたり場をきっかけに一歩を踏み出し、自分のやりたいことを本企画で実現できたそうです。

▲来場者に作品の説明をする主催者・宮下さん

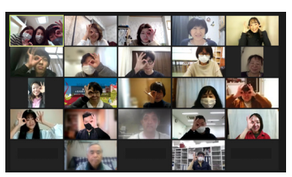
こまき社会問題研究所

令和３年度団体交流会 ２月１９日 (土) に開催しました！

小牧で活動する５つの市民活動団体から、それぞれ小牧で取り組んでいる社会課題を教えていただき、各団体と参加者のみなさんで一緒に「課題を放置するとどうなるか」「その課題を知らない人に伝えるために、どんな数字があったらよいか」を考えました。

例えば「中心市街地がにぎわって、住民が楽しいと感じている状態にしたい」という課題について「他市町と比較した住民満足度」や「小牧の好きなところ」などを調べてはどうかといったアイデアを考えました。

参加者のみなさんからは「小牧市にこんな活動があるとは知らなかった」「自分の団体でも数字を考えてみたい」といった感想があり、小牧市の課題を発見し、深く考えるきっかけになりました。


▲ " 発見ポーズ" で集合写真！

第６回 見たい!知りたい!つながりたい! 知って得する 知っトクセミナー

見えないってどゆこと？

３月１３日 (日) に開催しました！

第６回の知っトクセミナーは、「見えないってどゆこと？」～知ることからはじまる、バリアフリーなまちづくり～と題してこまき視覚障がい者の会のみなさんにお話をしていただきました。

視覚障がい当事者のみなさんが、「視覚障がい」といっても一人ひとり見え方が違うことや、普段の生活でどんなことに困っているのか、どう声をかけてほしいかなどについのお話しがありました。後半は４人１組になってアイマスクをして全盲のピアニスト・小島怜さんの演奏を聴いたり、お菓子の袋を触って何のお菓子かを当てたり、「見えない」ことについて体験しながら楽しく学びました。

メンバー紹介の様子 (上)
アイマスクでお菓子当ての様子 (右)

当日の講座をオンライン配信中
YouTube